

Title	表紙・編集後記・目次
Author(s)	
Citation	英文学評論 (1973), 31
Issue Date	1973-12
URL	http://hdl.handle.net/2433/135071
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

英文學評論

第 XXXI 集

Anticipation of Experience 桜井正一郎
——ダンとパラケルサス，結——

ロレンスのリーダーシップ・ノヴェルズについて 奥村透
——『エアロンの杖』から『翼ある蛇』まで——

ウォーレス・スチーヴンズの世界 大浦幸男
——“Notes toward a Supreme Fiction” について——

The Owl and the Nightingale の英語 佐々部英男

京都大学教養部英語教室

目次

Anticipation of Experience.....	桜井正一郎(一)
——ダンとパラケルサス、結——	
ロレンスのリーダーシップ・ノヴェルズについて.....	奥村透(一)
——『エアロンの杖』から『翼ある蛇』まで——	
ウォーレス・スチーヴンズの世界.....	大浦幸男(三)
——“Notes toward a Supreme Fiction”について——	
<i>The Owl and the Nightingale</i> の英語.....	佐々部英男(一〇六)

編集後記

本号の四篇は、古英語ないしは英語学、ルネサンス期文学、そして現代英文学及アメリカ文学となり、これは期せずして現在の教室員の研究領域をほぼカバーすることになった。我々外国文学研究の基本的ありようは、現下の社会的事情に直接関係なく維持されるが、他方実際の教育面ではそうもいかない面があるのはいうまでもない。九月に新筑波大学法案が成立、外国語教育を含めて新しい大学のモデルが形成されてゆく。一、二の既存の大学でもそのモデル像に沿うような教育システムの改変が緒についたと報じられている。一方現在の教養英語に対する学生の不満も慢性化しつつあるようにみえ、我々は各自の研究を進める一方、いや応もなく社会的対応をせまられている。

教室員の異動に関しては、四月に喜志助教授が文学部に配置転換、代って広島大学より六反田助教授を迎えた。また酒井助教授は昨年二月、永野助教授は本年八月、それぞれ教授に昇任された。

なお、本誌二十九号掲載の松下助教授の論文が、京大英文学会第三回石田賞を受賞した。

(編集委員)

英文学評論 第三十一集

非売品

昭和四十八年十二月二十五日 印刷
昭和四十八年十二月三十一日 発行

編集者 京都大学教養部英語教室

代表者 増山 学

印刷所 中村印刷株式会社

京都市下京区七条御所ノ内中町

発行所 京都大学教養部英語教室

京都市左京区吉田二本松町

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

Volume XXXI, December 1973

CONTENTS

Anticipation of Experience :

Donne and Paracelsus, Part III*Shōichirō Sakurai*

On D. H. Lawrence's Leadership Novels.....*Tōru Okumura*

—from *Aaron's Rod* to *The Plumed Serpent*—

The World of Wallace Stevens.....*Yukio Ōura*

—a study on "Notes toward a Supreme Fiction"—

The Language of *The Owl and the Nightingale**Hideo Sasabe*

ENGLISH DEPARTMENT
COLLEGE OF LIBERAL ARTS
KYOTO UNIVERSITY